

2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月6日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3901 URL https://www.marklines.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	1,194	21.9	443	35.3	443	33.4	309	41.9
2021年12月期第1四半期	979	37.0	327	29.0	332	29.9	218	92.5

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 319百万円(18.5%) 2021年12月期第1四半期 269百万円(108.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	23.42	23.40
2021年12月期第1四半期	16.53	16.49

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	5,031	3,609	71.7
2021年12月期	4,992	3,593	72.0

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 3,609百万円 2021年12月期 3,593百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,095	23.5	730	26.8	720	23.6	505	28.4	38.23
通期	4,270	22.0	1,538	20.0	1,525	20.0	1,062	20.0	80.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	13,211,200株	2021年12月期	13,209,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	442株	2021年12月期	442株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	13,210,669株	2021年12月期1Q	13,190,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第1四半期連結累計期間（2022年1月1日から2022年3月31日まで）において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

「情報プラットフォーム」事業については、昨年同様、オートモーティブワールド(1月19日から1月21日)に出展し、EV化や自動運転に関心のある多くのお客様へ弊社サービスを対面で紹介しました。また、継続してオンライン営業も進め、大市場の中国を中心に電話によるコンタクトを取った結果、同地域の売上が特に伸長しました。コンテンツ面では主要部品メーカーの決算データを即時更新してメールでお知らせするAIによる機能を追加したほか、自動車メーカーの工場立地マップをGoogleおよび百度マップと連動させるなど、より早く、より詳しく、より使いやすいサービスの提供に向けた改善を進めました。その他の事業では、ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて、クリーンエネルギーシステムへの関心が引き続き高いことから、電動ドライブユニット等の受注が好調となり、売上が伸長しました。また、分解データ販売においては、EVモーター、インバーター関連の分解レポートや、当社独自で制作したコスト分析レポートの引き合いが旺盛で、前年同期を大きく上回る結果となりました。LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業については、パワートレイン関連予測情報への引き合いが強く、また、メディアへの露出効果も相まって売上が伸長しました。コンサルティング事業については、EV化や電動化に関連する部品の技術動向調査やコスト分析調査が引き続き堅調で、前年同期を上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、オンライン展示会やセミナー集客のためのリピーター利用が継続的に増加し、売上が伸長しました。人材紹介事業については、国内大手カーメーカーや外資系企業へのハイキャリア人材の成約により、前年同期を若干上回る結果となりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は売上高1,194百万円(前年同期比21.9%増加)、営業利益は、443百万円(前年同期比35.3%増加)、経常利益は、持分法による投資損失5百万円を計上したこと等から443百万円(前年同期比33.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、309百万円(前年同期比41.9%増加)となりました。

各セグメント毎の経営成績は以下の通りであります。

- 「情報プラットフォーム」事業：売上高614百万円(前年同期比19.3%増加)、セグメント利益(営業利益)357百万円(前年同期比27.4%増加)

当第1四半期連結累計期間における「情報プラットフォーム」契約社数は前連結会計年度末から126社増加の4,334社となりました。中国の部品メーカーへの効率的なオンライン営業を進めた結果、中国の売上合計が前年同期比44.8%増と全体の売上に牽引しました。

- 「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) (百万円)	増減率(%)
日本	267	287	+7.5
中国	72	104	+44.8
アジア	72	90	+24.3
北米	48	62	+27.9
欧州	50	64	+28.0
その他	2	3	+55.1
合計	514	614	+19.3

○ベンチマーキング関連事業：売上高314百万円(前年同期比30.5%増加)、セグメント利益(営業利益)98百万円(前年同期比63.5%増加)

当第1四半期連結累計期間におけるベンチマーキング関連事業は、部品調達代行事業において、e-アクスルやモーター等のEV関連部品の引き合いが売上を牽引しました。また日系カーメーカーからEV車本体の受注が7件あったことも奏功し、売上が大きく伸長しました。分解調査データ販売においては、上汽GM五菱社製の宏光(Hongguang)MINIの分解レポートや自社で制作した日系部品メーカーのe-アクスルのコスト分析レポートの売上が好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。

○コンサルティング事業：売上高138百万円(前年同期比2.5%増加)、セグメント利益(営業利益)34百万円(前年同期比16.1%減少)

当第1四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、電動車関連部品の技術動向調査や、EV、HV関連部品のコスト分析調査が売上を牽引したものの、前年同期は売上が高水準であったため、セグメント利益は前年同期比で16.1%減少となりました。

○プロモーション広告事業：売上高18百万円(前年同期比31.1%増加)、セグメント利益(営業利益)16百万円(前年同期比55.5%増加)

当第1四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、オンライン展示会やセミナー集客のための利用が継続される中で、ランディングページの追加、アフターフォローの充実によるリピーターの増加、ユーザーから他部署への紹介等もあり、売上高、セグメント利益ともに大きく伸長しました。

○LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高46百万円(前年同期比41.5%増加)、セグメント利益(営業利益)13百万円(前年同期比63.8%増加)

当第1四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、EV化の流れを受けて、電動車や電動車のパワートレイン関連予測情報が売上の87%を占めました。また、メディアで記事引用が増加したこともあり、引き合いが伸びました。同時に顧客の8割以上が年度契約を更新し、売上増に貢献しました。

○人材紹介事業：売上高53百万円(前年同期比26.8%増加)、セグメント利益(営業利益)22百万円(前年同期比15.5%増加)

当第1四半期連結累計期間の人材紹介事業は、成約件数25件(前年同期22件)となりました。海外企業を含む大型案件が数件成約となったことから、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

○自動車ファンド事業：売上高9百万円(前年同期は一百万円)、セグメント利益(営業利益)0百万円(前年同期は△11百万円)

当第1四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、昨年12月にファイナルクローズを終え、出資総額が2,450百万円となったことから「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」より受領した管理報酬を売上高として計上しております。2月に第一号投資案件(投資額2億円)を実行いたしました。

○ セグメント別損益

		前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) (百万円)	増減率(%)
「情報プラットフォーム」 事業	売上高	514	614	+19.3
	営業利益	280	357	+27.4
ベンチマーキング関連事業	売上高	240	314	+30.5
	営業利益	60	98	+63.5
コンサルティング事業	売上高	135	138	+2.5
	営業利益	41	34	△16.1
プロモーション広告事業	売上高	14	18	+31.1
	営業利益	10	16	+55.5
LMC Automotive Ltd.製品 (市場予測情報)販売事業	売上高	32	46	+41.5
	営業利益	8	13	+63.8
人材紹介事業	売上高	41	53	+26.8
	営業利益	19	22	+15.5
自動車ファンド事業	売上高	—	9	—
	営業利益又は 営業損失	△11	0	—

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月10日に公表しました2022年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,951,623	3,876,941
売掛金	227,985	407,737
商品	11,717	3,792
仕掛品	644	—
前渡金	62,802	24,135
前払費用	28,834	22,618
その他	6,150	6,876
貸倒引当金	△2,190	△3,885
流動資産合計	4,287,569	4,338,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,407	26,857
減価償却累計額	△7,866	△6,280
建物及び構築物（純額）	20,541	20,576
その他	47,072	48,560
減価償却累計額	△34,099	△36,262
その他（純額）	12,972	12,297
有形固定資産合計	33,514	32,874
無形固定資産		
ソフトウェア	35,490	31,485
無形固定資産合計	35,490	31,485
投資その他の資産		
投資有価証券	446,032	429,373
破産更生債権等	240	716
長期前払費用	2,306	1,952
長期預金	54,150	57,720
敷金	98,355	98,647
繰延税金資産	34,936	41,713
貸倒引当金	△240	△716
投資その他の資産合計	635,780	629,407
固定資産合計	704,784	693,767
資産合計	4,992,354	5,031,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,996	109,797
未払金	9,298	15,991
未払費用	41,066	36,179
未払法人税等	228,126	139,876
未払消費税等	64,073	58,602
前受金	954,648	990,465
役員賞与引当金	8,700	—
預り金	21,327	15,622
賞与引当金	11,502	48,592
その他	—	528
流動負債合計	1,393,738	1,415,655
固定負債		
退職給付に係る負債	4,852	6,963
固定負債合計	4,852	6,963
負債合計	1,398,591	1,422,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	370,751	370,951
資本剰余金	288,558	288,758
利益剰余金	2,915,576	2,921,223
自己株式	△784	△784
株主資本合計	3,574,101	3,580,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,997	60
為替換算調整勘定	11,663	29,154
その他の包括利益累計額合計	19,661	29,215
純資産合計	3,593,762	3,609,364
負債純資産合計	4,992,354	5,031,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	979,444	1,194,355
売上原価	415,881	491,490
売上総利益	563,562	702,864
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,695	7,008
販売手数料	346	144
広告宣伝費	2,768	3,957
役員報酬	14,339	14,184
給料及び手当	87,028	102,877
賞与引当金繰入額	19,558	21,965
退職給付費用	2,225	2,355
法定福利費	17,094	19,558
減価償却費	3,166	1,654
貸倒引当金繰入額	2,667	2,171
賃借料	16,641	17,467
その他	64,451	66,376
販売費及び一般管理費合計	235,984	259,721
営業利益	327,578	443,142
営業外収益		
受取利息	873	1,221
受取配当金	1,223	2,163
為替差益	2,286	1,730
その他	417	595
営業外収益合計	4,800	5,711
営業外費用		
持分法による投資損失	—	5,219
その他	—	221
営業外費用合計	—	5,440
経常利益	332,378	443,413
特別損失		
投資有価証券評価損	30,598	—
特別損失合計	30,598	—
税金等調整前四半期純利益	301,779	443,413
法人税、住民税及び事業税	97,650	137,238
法人税等調整額	△12,614	△3,274
法人税等合計	85,036	133,964
四半期純利益	216,743	309,448
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,339	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,083	309,448

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	216,743	309,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,140	△7,936
為替換算調整勘定	10,353	17,490
その他の包括利益合計	52,493	9,554
四半期包括利益	269,237	319,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,577	319,003
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,339	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いによっておりますが、当第1四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載してありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	「情報プラットフォーム」事業	ベンチマーキング関連事業	コンサルティング事業	プロモーション広告事業	LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計		
売上高										
外部顧客への売上高	514,895	240,911	135,112	14,077	32,589	41,857	—	979,444	—	979,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	514,895	240,911	135,112	14,077	32,589	41,857	—	979,444	—	979,444
セグメント利益又はセグメント損失(△)	280,726	60,411	41,036	10,549	8,120	19,474	△11,033	409,285	△81,706	327,578

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△81,706千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プ ラットフ ォーム」 事業	ベンチマ ーキング 関連事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予測 情報)販売 事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	614,288	314,338	138,429	18,459	46,112	53,060	9,665	1,194,355	—	1,194,355
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	614,288	314,338	138,429	18,459	46,112	53,060	9,665	1,194,355	—	1,194,355
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	357,648	98,766	34,419	16,400	13,301	22,495	427	543,459	△100,316	443,142

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△100,316千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。なお、売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。